

代表質問

# 公共施設の整備統合に向けた市の方針は

今年度策定の個別施設計画で検討しながら、市民ニーズにも対応した公共施設の適正化に取り組む



市民クラブ  
平松 昭徳

## 所信表明の重点的な取り組み等について

- 問** 商工業者支援策と具体的な観光振興策は。
- 答** ブランド認定や6次産業化による特産品の創出や販路形成を支援し、生産性向上や魅力づくりに向けた取り組みを後押ししていく。また、伊良湖地区での温泉開発、サンテパークたはらの魅力向上やサイクルツーリズムの推進、「たはら巡り〜な」や「どんぶり街道」など、事業者と一体となって取り組んでいく。
- 問** 介護保険事業の運営が東三河広域連合に移管し1年経過したが、本市への効果と課題は。
- 答** 効果は、地域密着型サービスが、東三河全域で利用可能となったことである。課題としては、新たに通所型サービス事業を実施したが利用が少なく、一層の啓発活動が必要と認識している。

- 問** 田原、赤羽根、福江市街地拠点の都市基盤整備の方向性は。
- 答** 田原市街地は、中心市街地全体を回遊できる仕組みづくりを市民と一緒に取り組んでいく。赤羽根市街地は、組合施行の区画整理事業による住宅用地の整備やサーフタウン構想に掲げる弥八島周辺の整備を進める。福江市街地は、ショップレイ周辺の整備構想を策定し、利便性が高く、魅力的な市街地になるように検討していく。
- 問** 公共施設の整備統合に向けた市の方針は。
- 答** 今年度策定の個別施設計画で、総量の圧縮、長寿命化、機能の最適化、民間活力の導入などを検討しながら、市民ニーズにも対応した公共施設の適正化に取り組む。

## ヘルプカードの導入状況は

本年中に作成し、配布できるように取り組む



辻 史子  
公明党田原市議員

## 農業用ため池の管理保全について

- 問** 「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」の成立を受け、市の役割は。
- 答** 「特定農業用ため池」の決壊に関する情報や円滑な避難を確保する上で必要な事項等の周知を図り、住民の防災意識の向上を目指す。管理上必要な措置を講じる責務が明確化されたと捉えている。

## ヘルプカードの作成について

- 問** ヘルプカードの導入状況は。
- 答** 本人、家族にとって安心につながるものであり、本年中に作成し、配布できるように取り組む。
- 問** ヘルプカードをヘルプマークとセットで配布するのか。
- 答** セットで配布する。ヘルプカードは市ホームページからダウンロードすることもできるようにしたいと考えている。